

## 【水の里の旅コンテスト 2022 応募企画】

### 【学生部門】

玉川大学小林セミナー

『古座川の魅力と共にはじまるご縁旅、人からはじまる人生旅

～故郷探しは古座川へ～』

(観光地域：和歌山県 古座川町)

【日程】	2泊3日		
【実施時期】	夏(実施時期：7月下旬～9月下旬)		
【催行人員】	4名(最小催行人員：1名)	【お勧めする旅行者層】	大学生
【旅行代金】	57,895～62,215円 (大人1名)	【代金内訳】	飛行機往復代金：約15,110×2=30,220円 特便割引：16,470×2=32,940円(2022年9月平日) 直行バス往復料金(南紀白浜-串本駅)：2,000×2=4,000円 レンタカー代金：約19,250円÷人数=9,625円/1人 サイクリングレンタル料金：2,000円 宿泊費用：やまさき屋 →1泊：8,800-9,800円 食事代：1,650円(1日目ランチ Monolith) (道の駅での食事 Monolith-web <a href="https://www.monolith-web.com/%E9%81%93%E3%81%AE%E9%A7%85%E3%81%A7%E3%81%AE%E9%A3%9F%E4%BA%8B/">https://www.monolith-web.com/%E9%81%93%E3%81%AE%E9%A7%85%E3%81%A7%E3%81%AE%E9%A3%9F%E4%BA%8B/</a> ) :1,000円(2日目ランチつくる) (食ベログ <a href="https://tabelog.com/wakayama/A3005/A300503/30008776/">https://tabelog.com/wakayama/A3005/A300503/30008776/</a> ) :600～1,200円(3日目ランチ里山カフェ花子 (山里カフェ花子 <a href="https://tabelog.com/wakayama/A3005/A300503/30009267/">https://tabelog.com/wakayama/A3005/A300503/30009267/</a> )
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>&lt;古座川町との出会い&gt;</p> <p>初めて古座川町と出会ってから2年の月日が経ち、念願の古座川町へ訪れることができました。古座川町では多くの住民と出会い、古座川町住民の優しさに触れることができました。多くの人が初対面でしたが、古座川で採れたエビのご馳走を頂いたり、古座川町を車で案内してくれた方もいました。この、初対面にも関わらず距離を縮めることができるのは、古座川町に住む人々の人柄の良さが滲み出ていたからだと思います。</p> <p>また、古座川町は私たちの<b>第二の故郷</b>になりました。私たちは、親戚が同じ県に住んでいるため、帰省をすることがありませんでした。そのため、心のどこかで自分の故郷を求めているのだと思います。古座川町に住む人々の暖かさの中には、「いつでも古座川に帰ってきてね」というようなメッセージが込められていると感じました。住民は田舎のおじいちゃん・おばあちゃん、そして30代-40代のお兄さん・お姉さんなど個性豊かな人々が迎え入れてくれます。このような住民と関わりを持つことで、旅行者は古座川町の資源である川や自然を大切にしようとする気持ちが芽生えると思います。家族として迎え入れてくれる住民が大切にしている物を、汚す旅行者は少なくなると思います。また、最近の町民の取り組みとして、毎週水曜日にゴミ拾いを行い、観光地整備をすることで、旅行者を迎える体制を整えていることがわかりました。以上の経験を通して、私たちは” 人との繋がりを大切にする” という想いを今回のツアープランに込めました。時間がゆっくり進む古座川町で日頃の疲れを癒した旅行者が、第二の故郷である古座川町に再び訪れたいと思えるようなツアープランを提案します。</p> <p>&lt;第二の故郷の定義&gt;</p> <p>ほんとうの意味での出身地ではないが、何度も帰りたくなる心安らぐ場所のことを指す。そしてそれが旅行者にとって、新しいふるさととなる。</p> <p>&lt;古座川町を対象地域にした理由&gt;</p> <p>私たちが通う玉川大学は古座川町と深い関わりがあります。入学当初、この桜並木に迎えられて、私たちの玉川大学ライフはスタートしました。この桜こそ、古座川産の桜だったのです。玉川大学は、古座川町からいただいた桜を、毎年学内</p>			

に植林しています。この桜以外にも、玉川大学は古座川町と包括連携の協定を2015年に締結し、ミツバチの研究や古座川町アドバイザー（観光振興）への教員の派遣など多くの取り組みを現在も行っていきます。（玉川大学と地域との連携 <https://www.tamagawa.jp/social/partnership/region.html>）

私たちが、古座川町を知ったのは2020年夏休みに企画コンテストに参加する中で、古座川町に出会いました。当時の古座川町は、少子高齢化が進み、令和2年10月時点では人口は2,378人（古座川町人口の推移 <http://www.town.kozagawa.wakayama.jp/gaikyou/sub003.html>）と減少しており、多くの住民が古座川町存続の危機を感じていました。古座川町の特徴として、町面積の約96%が森林であり、町には信号とコンビニエンスストアが1つありません。古座川町の人々は、田舎すぎるが故に年々若い人が、町を出て近郊に出てしまうといます。このような現状を抱えた古座川町を対象地域とし調査を進めていきました。その中で、コロナ禍ということもありオンラインツアーを古座川町観光協会の方のご協力のもと、町を観光しました。その時に、私たちが抱いた古座川町への第一印象は”非日常の世界”でした。生まれた時から大きなビルや住宅街に囲まれた生活をしてきた私たちから見た古座川町は、私たちの生活圏にはない綺麗な川の水や雄大な自然がありました。古座川の水に感動し、美味しいかき氷や川で身体をトトノウことができ、古座川の水の可能性が無限大であることを体感しました。

私たちは1年生の時に行った取り組みの中で観光まちづくりコンテストに出場し、古座川町の地域活性化をするための企画を提案しました。この活動から2年後、今回の水の里の旅コンテスト応募にあたり、私たちは今年こそは古座川町に訪れたいという気持ちもあり、再び古座川町を対象地域として選ぶことに決めました。

#### 〈ターゲットを選定した理由〉

“学生”をターゲットに、企画を考えました。三井のリハウスの調査結果によると、自宅も実家も都内にある人は53.7%いるとあります。（数字で学ぶシニアの暮らし <https://www.rehouse.co.jp/senior/detail05/>）この現状を踏まえ、インスタグラムを使い学生にインタビューを行いました。第二の故郷の調査したところ、112人中98人が第二の故郷を欲しいと回答しました。この需要は、古座川町の関係人口を増やすきっかけになると考えたからです。

#### 〈期待される効果〉

##### ①社会課題の解決 (SDGs)

4番 ターゲットが学生だと良い

6番 美しい水、衛生を守ることができる

8番 観光事業者は旅行客が増えることが予測でき、ターゲットである学生にとっても古座川で癒されることにより、第二の故郷を見つけることができる。

11番 関係人口が増えることで持続可能なまちづくりができる

17番 さまざまな人との関わりが生まれる

##### ②古座川町の課題解決

古座川町への観光客が来ることによる交流人口増加、古座川ファンが増え、ジビエ料理のインターネット販売やクラウドファンディングでの支援、古座川町、古座川の魅力を口コミで広げることによる関係人口の増加につながります。

##### ③古座川観光事業者の課題解決 (monolith, やまさき屋、道の駅、レンタカー、お金が落ちるところ)

学生との交流することで、現地の観光事業者の方々が学生の若いパワーを受けることができ、仕事へのモチベーションが向上されます。また、InstagramやTikTokを現地で発信することで現地の観光事業者の承認欲求にもつながります。

【 催行実績 】

無 → 今後の催行予定：2022年10月29日

## 【 行 程 表 】

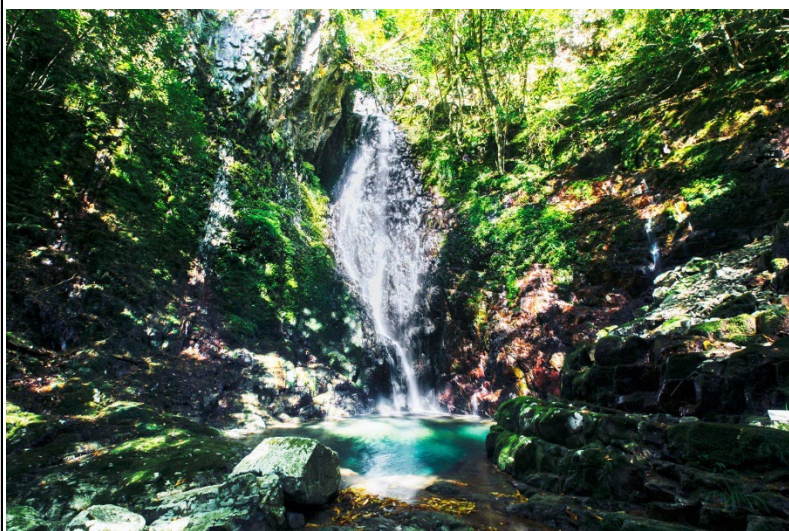
	場所	時間	備考
1 日 目	～古座川町へGO!～		
	羽田空港 === 南紀白浜空港 **約1時間** 串本駅 ～徒歩2分～ トヨタレンタカー :: 30分:: Monolith(お昼ご飯) → Monolith 夕方; テントサウナ → 夜; 大地を見上げる映画祭 → テントで寝泊まり		
	【羽田空港: 出発】		
	【南紀白浜空港: 到着】		
	【南紀白浜空港: 出発】	9:30※直通バス出発	串本駅直通バスに乗車
	【串本駅】	10:40 到着	徒歩2分のトヨタレンタカーへ行く
	【トヨタレンタカー】	10:45～11:30	レンタカーを3日分借りる
	【Monolith(お昼)】	12:00～13:30	Monolithでお昼ご飯を食べる Monolithさんの古座エリート (ジョーヤンさん、オクさん、土井さんたち) との交流
【Monolith(夕方)】	14:00～16:00	テントサウナで整う	
【Monolith】	22:00～	就寝(テント)	
2 日 目	～サイクリングで回る古座川町～		
	Monolith :: 20分:: 虫食い岩(自転車をレンタル) @@40分@@ 潜水橋 @@30分@@ つくる(お昼ご飯) @@10分@@ 虫喰岩 :: 10分:: ぼたん荘(温泉) :: 10分:: やまさき屋 旅館 夜ご飯 → 就寝		
	【Monolith: 出発】	10:00～	10時には出発できるように準備する
	【虫喰岩】	10:20～10:30	自転車をレンタル(観光協会の方との交流)
	【潜水橋】	11:10～12:10	写真撮影(聖地巡礼)
	【つくる(お昼)】	13:40～14:50	つくるでお昼ご飯を食べる お店の方々、町民の方々との交流
	【虫喰岩】	15:00～15:10	自転車を返却
	【ぼたん荘(温泉)】	15:20～16:20	温泉で疲れを癒す
	【やまさき屋 旅館(夕方)】	16:30～17:00	夜ご飯までゆっくりする
	【やまさき屋 旅館(夜)】	17:00～20:00	夜ご飯を食べる&みっちゃん talk
【やまさき屋 旅館】	20:00～	就寝までフリー時間	
3 日 目	～古座川住民ほっかほかの旅～		
	やまさき屋 旅館(朝ご飯) :: 20分:: 滝の拝 :: 5分:: カフェ花子(お昼ご飯) :: 20分:: もりとよ商店 :: 20分:: 串本町 **約1時間** 南紀白浜空港 === 羽田空港		
	【やまさき屋 旅館】	9:00～10:00	朝ご飯を食べる
	【滝の拝】	10:30～11:45	写真撮影
	【カフェ花子(お昼)】	11:50～12:50	お昼ご飯を食べる
	【もりとよ商店】	13:10～15:00	カフェで森さん夫婦との交流&お土産を買う
	【串本町】	16:20※直通バス出発	南紀白浜空港直通バスに乗車
	【南紀白浜空港】	17:30 到着	
	【羽田空港】		
	マークの説明: ===飛行機 ###電車 ***バス ::::車 @@@自転車		

**町民の癒しスポット古座川**  
見てよし！泳いでよし！

人口 2,587 人、面積は 294 km<sup>2</sup> である小さな町に約 60 キロメートルにわたって熊野灘まで流れ込んでいる古座川は、古座川町の町に長く続いています。上流には、「七川ダム」があり、夏になるとアユ釣りで賑わいます。遠くから川を眺めてみても川底まで見えるほど水が透き通っています。町の真ん中に川が 1 本続いている、町民の方々の心を癒しています。夏には、川遊びや魚とり、釣りそしてカヌーもすることが出来ます。全国には数多くの水が綺麗で美しい川が存在していますが、町民の方々によって誇りに思われ、大切に守られているからこそその美しさを古座川では感じ取ることが出来ます。町民の方が古座川を美しく保つために行っている活動の例として、道の駅 Monolith さんは水曜日の朝にゴミ拾いを行っています。町を愛し、心から大事に思っているからこそその行動ということが分かります。そんな多くの人によって大切に守られた古座川は見た目以上に私たちに訴えかけるものがあるはずです。また、“水の国、わかやま”を作りあげている要素でもあり、一度目にしたら忘れられない景色に間違いありません。いつまでも綺麗な水を保ち、古座川町の美しさとして輝き続けることでしょう。

**参考文献：**

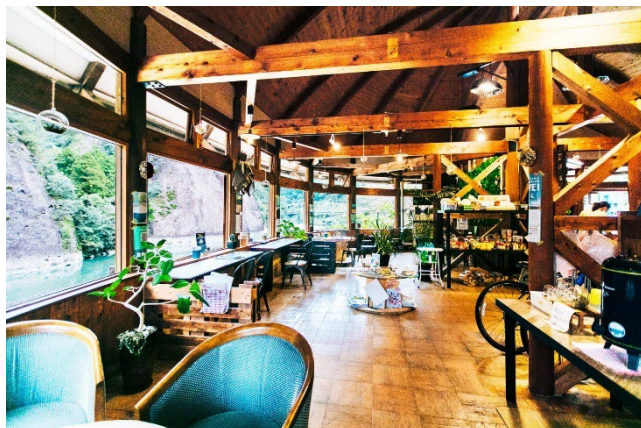
日刊ゲンダイ, 和歌山古座川でダッキー遊び, 2016 年 7 月 26 日,  
<https://www.nikkangendai.com/articles/view/life/186464>  
(参照 2022 年 9 月 15 日)  
FISH PASS, 関西随一の清流「古座川」に魅了されて～フィッシュパス漁協探訪#4～, 2020 年 8 月 26 日,  
<https://www.fishpass.co.jp/news/archives/13900>  
(参照 2022 年 9 月 25 日)



		<p>JCP 和歌山, 古座川町の歴史 , 2019年10月11日, <a href="https://jcp-wakayama.com/2019/10/11/%E5%8F%A4%E5%BA%A7%E5%B7%9D%E7%94%BA%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2/">https://jcp-wakayama.com/2019/10/11/%E5%8F%A4%E5%BA%A7%E5%B7%9D%E7%94%BA%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2/</a> (参照 2022年9月10日) 古座川町観光ガイド, 古座川観どころ 自然の生命を映しだすクリスタル・リバー <a href="http://www.town.kozagawa.wakayama.jp/kankou/sub001.html">http://www.town.kozagawa.wakayama.jp/kankou/sub001.html</a> (参照 2022年9月20日)</p>
--	--	---



Copyright© 古座川町観光協会



Copyright ©古座川町観光協会



## 愉快的古座川エリートが経営する Monolith カフェ ～最高のロケーションで最高のア クティビティを～

国指定の天然記念物である一枚岩が目の前にそびえ立つ最高のロケーションに Monolith カフェがあります。世界的オーストラリアの一枚岩にも負けない迫力です。そんな迫力満タな一枚岩を眺めながら、心や体を休められる場所です。このカフェの看板メニューでもある、古座川町の特産品である柚子のシロップを使用した柚子フラッペは絶品です。このフラッペ内容は週ごとに変わっていくため、飽きることなく楽しんでいただけます。また、カフェだけではなく手ぶらキャンプや今流行りのサウナを楽しむことができます。テントサウナに入り、目の前の古座川にダイブし、外の風を浴びながら“整う”体験が出来ます。新しいサウナ経験ができてしまいます。様々な活動を行っている Monolith さんは、古座川町で生まれ育った愉快的古座川エリート 3 人組で経営しています。愉快的古座川エリートと美味しいご飯、楽しいアクティビティを体験し虜になること間違いなしです！

10月26日には、一枚岩にプロジェクターで映画を映し出す“大地を見上げる映画祭 vol.1”というイベントも行います。星満点の空の下で映画を鑑賞することが出来ます。

### 参考文献：

古座川町観光協会，道の駅一枚岩モノリス，  
<https://kozagawakanko.jp/tourism/207/>

(参照 2022 年 9 月 18 日)



Copyright@ 古座川町観光協会



Copyright@ 古座川町観光協会

## デコボコの岩が特徴的！ ～心も涼しく爽やかになる滝の拝～

滝の拝は、和歌山県指定の天然記念物に登録されている溪流瀑。熊野群下里累層が露出し出来ており、古座川支流の小川で川床全てが床岩。中央には上から下に流れる、迫力のある8kmの滝です。小石が水流に乗り流されて岩石を削り、大小様々な岩穴（ポットホール）を多数生み出しました。

時期は夏。6月中旬過ぎには釣りをする人々の姿が。アユのトントン釣りが目当てですが、これは組合員の方のみが出来る特権です。トントン釣りは、凸凹になった滝の拝の地形を利用した漁法。餌やおとりを用いず、錘と針のみで川底をトントンとすることから名付けられました。月日は過ぎ、7月。ボウズハゼやヨシノボリの滝登りが夏真ただ中を飾ります。逆流する上流を目指し、グランドラインへ向かおうとする姿はまさに夏の風物詩。

古座川町のマスコットキャラクターが滝之拝太郎であることはご存じでしょうか。これには、古座川町の民話に関わっています。昔、滝之拝太郎という侍が滝の拝に住んでおり、彼は神様に願掛けをして刀で穴を掘っていたが、刀を滝壺に落としてしまいました。太郎は刀を探しに行きましたが一週間経っても帰ってこなかったため、村の人は彼が亡くなったと思ひ込みましたが、後に太郎が姿を現したのです。太郎によると、滝壺には神殿があり、そこに住む滝の姫からもてなしを受けたと言います。まるで浦島太郎のような話です。帰りに姫は太郎に落とした刀と丸い石を土産として持たせました。そして今滝の拝には、金比羅神社がありその石が境内に飾られています。

滝の拝の近くには道の駅 滝之拝太郎の店があり、特産品や工芸品のお土産を購入可能です。

参考文献：

古座川町観光協会. “滝の拝”. 本州最南端の清流のまち 古座川町観光協会.

<https://kozagawakanko.jp/tourism/110/>

参照日:2022年9月29日



Copyright@ 古座川町観光協会

**一度壊れたが再興！**

**～古座川を水の災害から守る守護神の橋！～**

潜水橋とは、川の増水時に橋が水面下に潜り、折られないようにするためにわざと低く創られている橋のことを指します。全国的にも潜水橋はあまり残っていないようで、紀南地方では上富田とここ古座川町にある明神の潜水橋のみ。実際に2006年に大雨により橋が崩壊したが、住民に支えられ、2009年に復旧されました。

潜水橋は、サイクリングコースにもよく訪れられます。虫喰岩から一枚岩や串本町方面の通過点にあり、多くのサイクリストが潜水橋の上を通ります。手すりもガードレールもないため、スリリングを味わえることでしょう。写真を見て頂ければわかる通り、橋の幅は自転車一台分程度です。

また、サイクリングでなくとも、橋に腰を掛け座ってみると、川や風のおいをはだ肌で感じることも出来るのでは？

参考文献

古座川町観光協会. “明神の潜水橋”. 本州最南端の清流のまち 古座川町観光協会

<https://kozagawakanko.jp/tourism/165/>

参照日:2022年9月29日





Copyright©2017 by tsukuru

つくるさんのメニューの1つであるカレーライス

## 町民皆の憩いの場！

～寄っといで農家カフェつくるへ～

2022年8月24日から30日まで私たちは古座川町に訪れました。一日目のお昼ごはんをここ、「つくる」さんで頂きました。その際つくるさんの店内の雰囲気や料理に圧倒され、インタビューをさせて頂けないかと交渉し、実際に27日にヒアリングをすることが出来ました。

左二枚目の写真で、前にいるお三方がつくるの従業員さんです。従業員さんは、子供が同級生のお母さん同士なのだそうです。野菜を取る方、料理を作るのが得意な方、パンを作るのが得意な方。三者三様の特技を活かしています。

つくるを最初に立ち上げようと思いついたのが、中央にいるピンクのエプロンを身に着けた南条のりこさん。最初はお家族や友人に反対されたが、「やってみないと分からない！」と始めたところ、今では皆に認められ、沢山の人が集まるカフェとなりました。

一番左に写っている山本さんは、祖母の家が東京にあったため、「帰郷」の経験が無かったと言います。小学生の時に、夏休みに田舎へ帰る同級生を見て、羨ましいと思ったのだそうです。田舎の良いところについて、次のようにお話ししてくださいました。

田舎は心の拠り所、帰るところ。自分の子供や孫にとって、ここ古座川町をそういう場所にしてあげたい。どうせ田舎に住むなら、簡単に東京や大阪に行けないような、秘境の地で暮らしたいと思い、古座川町への移住を決定しました。

一番右にいるのはちいちゃんさん。ちいちゃんさんは、30歳過ぎてから古座川町に戻ってきて、田舎の良さを実感しているのだと言います。

私たちはつくるさんとお話をし、人との繋がりや人の心の温かさを非常に感じました。一度古座



川町に住む人の名前を出すと、「ああ、あの人ね」と皆さんが知っていたり、隣にいる他人のことを紹介して下さったりする事が多く、人の事を紹介できるほど普段から深い会話をしているのだと推測できます。東京にいたと、他人についてどこまで干渉して良いのか分からなかったり、聞こうとしてもはぐらかされたりすることもあります。古座川町の人々は自分のことについて話すのに躊躇がなく、聞いている私達からしても、聞けば聞くほど面白いと感じました。



古座川ジビエ山の光工房での写真

(左から 2 人目の方は古座川町観光協会会長のジャイアン貴裕さん)

#### 古座ファンになる一番の理由 ～古座川町民のあたたかさ～

なんといっても古座川町を語る上で、町民の方々の魅力なしには語れません。私たちは、水の里プランのフィールドワークも含めたインターンシップに約 1 週間の間行っていました。その中で一番印象深く心に残っていることは、関わる全ての方が優しく、家族のように接してくれるという事です。世間一般のイメージだと、都心から田舎を訪れたりするだけでも、あまり現地に住んでいる人達からは良く思われなかったり、毛嫌いされるのではないかと考える人も多いと思います。そのようなことから、田舎に移住したくてもハードルを高く感じてしまう人も少なくないと思います。しかし、古座川町の人々は外から来た人をアットホームな雰囲気ですぐに受け入れてくれるのです。町民の方が優しく、雰囲気が良いからこそ観光客の立場であっても、町民の方と深い交わりを持つことが出来るのです。そ



もりとよ商店さんの森さんと奥様まどかさんとの写真

の結果、観光客の人々は「第2の故郷」が出来たような気持ちになり、心の癒しを定期的に求めに古座川町に何度も訪れるリピーターとなります。私たち自身も1週間という短期間の中で、人と人の繋がりの強さや町民の方の魅力というものを訪れる先で感じました。お店や職業体験先にお世話になった時に、気にかけて話しかけてくれる方やお土産を持たせてくれることもありました。この行為は町の良い雰囲気を作りあげている1つの要因だと感じました。

実際に移住してきた町民の方にお話を伺った時も

「自然や観光資源だけではない、町民との繋がりもプランに入れてほしい。」

と言っていました。実際に住んでいる人々が身に染みて感じているからこそ、人々の暖かさは古座川町の最大の強みと言えるでしょう。

自然の中で感じられるマイナスイオンで身体的なリラックス効果を感じられるだけでなく、人との繋がりを通して心の癒しをも感じることが出来るのです。

### 旅館のアイドルに会える、、、？ ～やまさき屋のみっちゃん～

私たちは2日目にやまさき屋旅館を訪れました。その時にやまさき屋旅館を営んでいる山崎美知子さんとお話をしました。美知子さんは町民の方から「みっちゃん」という愛称で呼ばれています。町民全員から親しまれており、やまさき屋旅館のアイドルのような存在なのです。家族のように気にかけてくれ、たくさんお話をしてくれる「みっちゃん」は会うだけで明るく暖かい気持ちになります。さらに、美知子さんが作るご飯はとっても美味しいのです。古座川町で作られた農作物が使用されたご飯は、何度も食べに行きたくなるくらいおいしいのです。「みっちゃん」と「やまさき屋のご飯」に心を癒しに来るお客さんは





とても多いでしょう。一度訪れたら、誰もが大好きになること間違いなしです。

参考文献：

やまさき屋旅館

<https://yamasakiya.co/ryouri/ryouri.html>

(参照 2022年9月17日)



Copyright@ 2022 MotionGallery Inc.

Positive 人生の先生？！

～号泣に気を付けろ！もりとよ商店～

私たちは8月29日と30日の夜に、もりとよ商店さんの隣にある家に泊めさせて頂きました。実は、公式の宿屋ではないのですが、もりとよ商店を営む森さんご夫婦に特別にお借りしました。森さんご夫婦のお母様の家なのだそうです。

もりとよ商店は、主人である森武志さんと奥様のまどかさんが運営している、Cafe&Barです。

29日の夕方から夜にかけて、森さんご夫婦と観光協会の増山さんのお知り合いの方をお招きください



Copyright©古座川町観光協会



て、大人数でBBQをしました。初対面の方々ばかりでしたが、皆さんとても気さくに様々なお話をしてくださいました。これも、もりとよさんが地元の皆さんから親しまれ、古座川町民の集う場所となっているからこそ開催出来たことです。

そして30日夜、もりとよ商店が閉店した後、まどかさんが私たちに「かき氷食べへん？」と声をかけて下さいました。お店では「古座川ふうわり氷」というかき氷から一つ無料で頂きました。ふうわり氷は古座川の純水を使っているため、頭がキーンとならないため、非常に食べやすいです。そして、夜には森さんご夫婦が結婚式の際に周りの方への感謝 Movie をつくっており、YouTubeに挙げられていたものを全員で視聴しました。そこには、今まで支えて下さった周りの方への恩返しとして動画を送ろうとした森さんご夫婦の愛が沢山詰まっていました。そして、古座川町全体で二人の結婚を祝福している様子を見て、「ああ、これが本物の愛だな。これが自分の憧れの人生だ」と思いました。私たち3人は号泣してしまいました。自分の人生の足跡を一から十まで他人に見せることは、ほとんどの人が抵抗があると思います。しかし、古座川町の方は、自分のマイナスイメージな部分や普通なら人に言うのをためらうことも笑いに変えて話してください、かっこいいと思いました。私も、これまでとこれからの自分をドンと胸を張って語れる人生にしていきたいと感じました。

参考文献：

Motion Gallery. “再挑戦！日本一でっかい岩でジオスクリーン映画祭を！和歌山の紀南、古座川町を盛り上げる！” . クラウドファンディング 2022年4月2日更新.

<https://motion-gallery.net/projects/jyoyanikem-en01/updates/40465>

参照日：2022年9月29日

